

みずくらいど

校長 加藤雅弘

やりたいことは、自分たちの力で実現する

現在、4年生以上で「クラブ決め」が行われています。右のようなルールに基づき、今年度のクラブを決定します。

26日の給食の時に、新クラブを立ち上げた子供が昼の放送で宣伝しました。その直後の昼休み、職員室前の廊下は子供たちでにぎわいました。立ち上げたクラブへの勧誘をする子供、そしてそこへの移動を検討しにきた子供たちがいました。

移動を決めた子供は、担当の先生に申し出ます。10名以上という人数以外に各学年1人以上という条件があります。同じ学年のメンバーだけでは、クラブ活動のねらいが達成できないからです。発起人は同学年メンバーで構いませんが、他の学年の賛同者を得られることが必要です。

手芸クラブは4年生が発起人となり、放送で勧誘しました。昼休みに5年生が移動してきました。あと6年生が移動すれば成立です。しばらくすると6年生も移動する子供が出ました。立ち上げた4年生は大喜びでした。

クラブ活動は、異年齢の子供たちが協力し、共通の興味・関心を追求する集団活動の計画を立てて運営することが大事です。今回の件は、自分たちのやりたいことを自分たちの力で切り開くことができた体験として、子供たちの今後の生き方にも大きく作用することと思います。「どうせ、世の中、自分一人の力で変わるわけがない」というあきらめの気持ちをもつ人も見られますが、このような経験を積み重ね、前向きに、そして夢を追いかける生き方をしてもらいたいと感じる瞬間でした。

新クラブの立ち上げについて

- ・ クラブを立ち上げたい人は、担当の先生(たんとく)に
言_いって、クラブ紹介紙_{しょうかいし}をもらって、書いてからはろう。
- ・ クラブを立ち上げた人は、責任_{せきにん}をもって、ほかのクラブに
へんこうしないようにしましょう。どうしてもへんこうしたい
場合_{ばあい}は、立ち上げたクラブを希望_{きぼう}している他の人_{ほか}にちゃんと
断_{ことわ}ってからにしましょう。
- ・ 希望者_{きぼうしゃ}は、お昼_{ほうどう}の放送で新クラブの宣伝_{せんでん}をしましょう。
宣伝_{せんでん}をしたい人は、台本_{たいぽん}を作り、担当の先生_{せんせい}まで
声_{こゑ}を掛けてください。

クラブ成立のルール

- ・ 各学年_{かく} 1人 以上いること
- ・ 全員_{けんいん}で 10人 以上いること

約束事

1. クラブをへんこうする場合は担当_{たんとく}の先生に声をかける
 2. 他人_{たにん}のマグネットにさわらない
 3. 新クラブを立ち上げた人は途中_{とちゅう}でクラブを変えない
- ※希望者_{きぼうしゃ}が多すぎて活動できないクラブは
そうだんしてちょうせいします。

